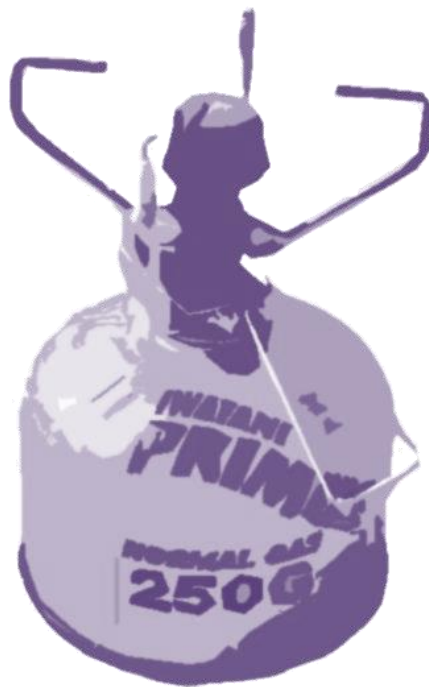


佐伯山の会

まど

finestra

329号



2016

12月

師走

●山行案内

- ・ 新年登山★極楽寺山 **3**
- ・ 恐羅漢山★スノーハイキング **3**

●山行報告

- ・ 定例会 小豆島紅葉山行 **4**
- ・ 定例会 東郷山転じて大峯山縦走 **7**
- ・ 個人山行 絶好天の富士山 **9**
- ・ 個人山行 九重山 **11**

■ 定例集会 議事録 **13**

■ 第8回運営委員会議事録 **14**

■ AFFAIRS IN NOVEMBER **15**

■ 行事予定 **16**

山行案内

1月例会山行

新年登山★極楽寺山(693m)

- 【日時】平成29年1月8日(日) 【山域】廿日市
 【集合場所】宮内串戸駅 【集合時間】9時00分
 【参加費用】昼食代200円<餃子鍋の予定> 【地図】極楽寺山
 【行程】串戸駅(9:10)→登山口(9:30)→山頂(12:00)→蛇の池広場(12:10)→宴会(12:30)→下山開始(14:00)→串戸駅(16:30)
 【装備】低山冬山ハイキング装備、雨具、食器、お湯(300ミリットル)、お弁当
 当各自必要な物
 【申込先】
 【申込期限】2016年12月29日まで
 【山行の呼びかけ】新年初登山です。祝いながら楽しく登りましょう。皆さんの参加をお待ちしています

恐羅漢山(1,346.4m)★スノーハイキング

- 【日時】2017年1月14日(土) 【山域】安芸太田町
 【集合場所】宮内串戸駅前 【集合時間】午前7時30分
 【交通手段】自家用車 又は レンタカー 【参加費用】会規定による
 【行程】宮内串戸駅前(7:30)→牛小屋高原(9:30)→百本杉尾根(9:45)→恐羅漢山(11:20~11:30)→台所原(12:30~13:15)→早手のキビレ(14:15)→百本杉(14:45)→牛小屋高原(15:00)→宮内串戸駅(17:00)
 【装備】スノーシュー又はワカン(必携)、雪山に適した服装、地図、磁石、昼食、非常食、雨具、防寒具、ヘッドランプ
 【地図】1/25,000 三段峡・出合原
 【リーダー】
 【申込先】
 【申込期限】2016年12月31日(土)まで
 【山行の呼びかけ】真っ白な広島県最高峰の山域を存分に歩いてみませんか。百本杉の尾根から山頂へアプローチし、山頂から台所原に磁石を頼りに駆け下り、管理林道で早手のキビレへ登り返してから、足跡なき斜面を下って牛小屋高原に戻りたいと計画しています。

山行報告

小豆島紅葉山行

西の城山 皇踏山 (394m)



小豆島は醤油とオリーブ油で知られ古くは星ヶ城山山頂には西峰・東峰に阿豆枳（アズキ）島神社があり大野手比賣が祭られ小豆島を安静の地にしたと伝えられている。火山噴火による堆積物が浸食により断崖絶壁の溪谷を形成する寒霞溪溪谷は表十二景、浦八景の歩道があり、奇岩を見せてくれる。西には土湊海峡（世界一狭い 9.9m）の海峡・中余島と大余島を結ぶ陸繋砂州（トンボロ）を天使の道エンジェルロードと命名され、一大観光スポットとなっている。

【日 時】2016年11月12～13日

【参加者】

11月12日 皇踏山 (394m)

【コースタイム】宮内串戸(7:30)⇒吉備スマート(10:20)⇒(10:40)新岡山港(11:20)⇒土庄港(12:40)⇒旭屋旅館(12:50)…海峡橋(13:20)…皇踏山登山口(13:35)…望台(14:35)…皇踏山山頂(14:50)…城跡(15:25)…展望台(15:55)…登山口(16:45)…旭屋旅館(17:25)

天気は快晴、車と車に分乗して予定通り宮内串戸を7時半に出発。山陽自動車道をひた走り途中のSAで昼食をgetし新岡山港に到着。小豆島の紅葉シーズンたけなわで駐車場を心配していたが、なんなくクリアー。11時20分の土庄行フェリーに乗りラウンジの一角を占拠して昼食を取る。土庄港に近づくと美しい双耳峰の山、皇踏山(アウトヤマ)が出迎えてくれる。12時40分土庄港に入港。港そばの、今晚の宿旭屋旅館に不要な荷物を預け、皇踏山へ出発。途中オリーブの並木道を進み世界一狭い(9.9m)の



星踏山マップ



鷹取望台

土庄港から
皇踏山西星ヶ城山から
山頂駅

土洩海峡



皇踏山登山口



東星ヶ城の測標



7景二見岩



皇踏山

海峡橋（永代橋）を渡り町中を通り過ぎ、淵崎登山口に着く。

最初から急登が続くが山頂付近に展望台があり、ギネスブックに登録された土庄の海峡、一日に二回砂浜が出現する愛の架け橋・エンジェルロード(もう一度弾けてみたい鳳仙花……。ですネ)が一望できる絶景ポイント。尾根は平坦な整備された登山道となる。ただ迷路のように道が交差しているので地図とコンパスが必須。山頂には立派な御影石の祠が鎮座している。山城の場所に行ってみたが城の痕跡はなく東屋がありここからの景観も盆景のごとく素晴らしい。帰りは元の道をたどる。宿は小豆島遍路宿で満室状態。料理も応対にも満足した宿だった。明日は6時30分からの朝食。2次宴会も早め(23時ごろ)にきりあげ今宵は鳳仙花ロードの夢に酔い知れるのもいいですネ!!。

■記録■浅井田

星ヶ城山(817m)

11月13日

【コースタイム】旭屋旅館(7:30)⇒紅雲亭(紅雲駅)(7:55)…四望頂(8:45)…鷹取展望台(9:00)…紅雲山頂駅(9:15)…阿豆枳島神社(9:27)…星ヶ城西峰(10:00)…星ヶ城東峰(10:16～45)…紅雲山頂駅(11:20～30)…石門(12:05～20)…猪谷(12:35)⇒旭屋旅館(13:30)…土庄港(14:30)⇒新岡山港(15:40)⇒宮内串戸(19:00)

昨夜な旭屋旅館の豚と牛の食べ放題のすき焼と鮮魚の刺身で精を付け二次会でまったりと安らぎ今朝は7時30分に予約しておいたタクシーで紅雲亭へ直行。観光客はここからローウェイで山頂駅まで登るが佐伯の面々は



寒霞溪マップ



石門



展望台

18 番札所
石門洞

エンジェルロード



皇踏山山頂にて



猪谷バス停

錦秋の溪谷を妄想観賞しつつ奇岩の解説版を読みながら登る。山頂駅までは石畳で鬱蒼とした密林の様相で紅葉には程遠い。遠望の奇岩は赤や黄色の衣をまとっている。表山道も終盤に近付くと寒霞溪を見下ろすようになり溪谷美の絶景が楽しめる。ロープウェイ山頂駅は広い駐車場やレストラン・みやげ売りの売店があり改めて観光地だと思った。整備された遊歩道を西星ヶ城山、東星ヶ城山へと向かう。ここからは土の道。なんだか新鮮さを感じる。途中の展望台からは溶岩が水中で噴出した水冷破碎岩が堆積、それが長い年月をかけ浸食され猿をも寄せ付けぬ断崖絶壁の溪谷美を造形した寒霞溪溪谷が眼下に見渡せる。鋭く尖った岩峰に赤く黄色く、岩肌をよそおい、その彩面が時を止めている。東西星ヶ城には古事記にまつわる小豆島の祖神阿豆枳(アズキ)神社がまつられている。この辺りは紅葉も真っ盛りで錦秋のジュウタンを踏みしめ東星ヶ城山に到着。山頂には安山岩の板状節理を積み上げて作られた三角点測量のやぐらがあり、なぜかお地蔵さんが安置されている。少し早い草壁港あたりの景色を見ながら昼食Time。思い思いの軽食ランチ。いつもながらリッチなD氏の食材に群がる輩になすすべもなく……。老中男女の御一行ゆえ帰りを2班に分け裏八景コースとエスケープでロープウェイコースを予定していたが、昼食を早く切り上げ全員行動をとることにした。

ロープウェイ山頂駅まではピストン。下山場所の猪谷バス停までは十分余裕をもって山頂駅から裏八景の石畳みを下山。八景の標識を読みながら奇岩・絶壁に酔いしれ石門へ。頭上に角礫岩の大アーチが現れる。アーチをくぐるとモミジ葉の紅葉が一段と輝く小豆島18番札所石門洞。絶壁の岩をくり抜いた造作の寺院は見るに値する。ここから25分バ

ス停の猪谷着。路線バスを待たずタクシーで土庄港へ。昨夜の旭屋旅館で風呂を戴き、予定通り14時30分のフェリーに乗船。途中高速道で夕闇迫る東の空に旅のクライマックス、イブフルムーンの天体ショーをお供に一

泊二日の小豆島紅葉山行を無事おえた。車を提供して頂いた さん有難うございました。そして全員行動に協力して頂いたメンバーの皆さんに感謝します。

東郷山転じて大峯山縦走

【日時】2016年11月20日 曇り

【参加者】

【コースタイム】宮内串戸駅 7:30==東郷山登山口（和田恵下谷）8:10==東大峯山駐車場 9:20…東大峯山頂 10:50…西大峯山頂（昼食）11:45~12:35…878Peak13:15…769Peak13:35…林道 14:00…西大峯山登山口 14:15…東峯駐車場 14:30



東郷山を目指し7時30分宮内串戸駅前を中井、吉岡車に分乗して出発。東郷山に近づくにつれ雲行きが怪しくなり、登山口には小雨模様の中8時10分到着。雨雲レーダーの予測では雨は2時間続くとの予報。東郷山を諦め近場の雨が降っていない山を気象予報士が検索。結果大峯山に決定。文明の力とそれを使い熟せる人には驚嘆する。

進路を大峯山にとる。大峯下川駐車場に9時20分到着。予想通り雨の降った形跡なし。駐車場には他の登山者も準備していた。9時

25分出発。舗道を登り貯水槽から入山となる。平坦道は2合目あたりまででここを過ぎると階段（木段）が造成林の薄暗い中を延々と続く。しかも急勾配ときている。2～3度の休憩を取りながら尾根の二等三角点に到着。ここまですれば大峯山最高峰の岩峰は間近。6畳岩、8畳岩のアルミ梯子を慎重に通過すれば360度見晴らしの展望岩。頂上からは宮島の弥山、岩船、小五郎、三倉、吉和冠、寂地、十方、極楽寺などの山並みがすべて見える。集合写真をとり一路西大峰山へ。



ツルシキミ



オンネトウ



ヤマアジサイ



整然と植林された杉並



木道の階段が続く



東大峯山頂

落葉樹の樹上の秋が地面に移り、足元の落ち葉に眼福を預け、また無彩色な歩路には眼を引くツルシキミの真紅の実が。峰太郎ブナを横目に直進、滝のコース分岐と出会い分岐

過ぎから穏やかに登り返すと西大峯山山頂に着く。山頂は笹が刈られ四等三角点と年代物の大峯山の標識がある。北西方向に吉和冠の右肩下がりの独特な山体が望める。先着二人が食事中。我々もここで昼食T I M E。くつろいでいると、O Bの中塩夫妻がワン子同伴で登ってこられた。久しぶりの再開にしばらく談笑し山頂を後にした。縦走路を直進し、ここからの縦走路は今までの登山道とは不明瞭ではあるが踏み跡もテープも見極められる程度の道。高度を下げオンネトウの四等三角点（878m）を過ぎるころから紅葉が楽しめる。綺麗に枝打ちされ整列された杉林に入ると川上林道は間近。登山口になぜか等身大の姿鏡。林道から小川沿いに進むと左にタキ谷登山道にでくわす。突き当たりが県道。左に折れて15分ほどで駐車場につく。



絶好天の富士山

会心の登山をありがとう！

【日 程】2016年11月11～13日（金～日）

【参加者】



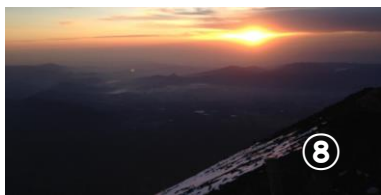
【コースタイム】

11/11～12（金～土）（19:55）…名
神・大津 SA（0:35）…東名・新城 PA（2:33）…
富士スバルライン5合目（5:42～6:44）…六合目
（7:33）…七合目トモエ館（8:46）…七合目東洋
館（9:45）…八合目白雲荘（11:55）…本八合目元
祖室（12:14）…八合五勺目御来光館（13:04～05）
…頂上久須志神社（15:40）

11/13（日）起床（5:00 過ぎ）日の出（6:19）
頂上発（7:45）…八合五勺目御来光館（8:13～14）
…七合目東洋館（9:28～33）七合目花小屋（9:58
～10:01）…五合目（11:13）…安達宅（22:40 頃）

来夏のアルプス4,000m峰登山に向けたトレーニングのため、まずは高所順応ということでオフシーズンの富士山頂での幕営を計画した。当初は、富士宮コースを計画していたが、直前の11/10に富士スカイラインが閉鎖になったので、開通している富士スバルラインの吉田口コースに変更した。2日ともまたと無い絶好天に恵まれ、会心の登山をすることが出来た。程度の差はあったが高度障害とシャリバテのなかで奮闘したメンバーに敬意を表したい。

また、一週間後、9合目から滑落してお亡くなりになった広島からの登山者2名の方に哀悼の意を表します。



名経由で富士スバルラインを目指す。

11 / 12 (土)

ナビの案内が少しおかしかった(御殿場 IC ⇒ 新富士 IC で下された。)が10時間弱で富士スバルライン五合目・吉田口に到着した。

夜が明けてくるとすばらしい展望が眼前に開けて来た。南アルプス、八ヶ岳、奥秩父連峰、さらに北アルプスが薄紅色に染まり始める。影富士の裾野に南アルプスの塩見岳①が輝いている。二度と見られない光景を眼に焼き付けて吉田口を出発②する。

6合目③からは締まった雪道となり順調に小屋を繋ぎながら高度を稼いでゆく。しかし、重荷と強風と高度の影響からか8合目辺り④から段々ペースダウン、頂上⑤に着いたのは予定より1時間40分遅れの15:40だった。時間も時間だし、メンバーの体調も良くないので最高峰の剣ヶ峰登頂はあきらめ、躊躇なくテントを設営⑥することにした。

風が無さそうな塀状の石積みの間をテントにするが容赦ない強風が設営の邪魔をした。石を集めてなんとか設営し終えて荷物を整理し、食事前の乾杯⑦をしたのが17:30過ぎであった。

11 / 13 (日)

一晩中、強風でテントが鳴り、熟睡できなかった。相変わらずの風の中、東の雲間から温もりのある太陽⑧が顔を出した。朝食、テント撤収、荷造りをして7:45に下山⑨を開始する。この間、2名が便座を保温仕様にした携帯トイレを使用した。

頂上から8合目への下りは一般ルートではなくその右側に広がる9合目の斜面⑩にルート取った。表面がクラストしていてスピーディに下ることができた。あとは昨日登ってきたルート下り、頂上から約3.5時間で吉田口5合目⑪に着くことができた。

11 / 11 (金) 颯爽としたマツダCX-5のお出迎えで19:55安達宅を後にする。井口経由で後藤・大藤の両名をピックアップ、五日市ICから山陽～中国～名神～新名神～東名阪～伊勢湾岸～東名～新東

* * *

※1. オフシーズンの富士登山は、登山計画書の事前提出、携帯トイレの携行が必要です。

※2. 富士スカイラインは、今後も11月10日頃に閉鎖されるようです。

九重山

【日 時】2016年11月11日（金）～13日（日）

【参加者】

【コースタイム】

11/11（金）大阪南港 ATC 19:55「さんふらわあ こぼると」船内泊

11/12（土）7:45 別府観光港着～10:00 牧ノ戸峠（レンタカー）～沓掛山
10:25～扇ヶ鼻分岐 11:10～11:40 久住分れ～12:00 九重山～12:40 中岳（昼食）～13:55 久住分れ～14:25 扇ヶ鼻分岐～沓掛山～15:15 牧ノ戸峠（レンタカー）～17:00 別府観光港

11/13（日）7:45 大阪南港 ATC～地下鉄にて解散



皆さん、こんにちは、清家です。今回は九重山へ行ってきました。集合が18:45、大阪南港のフェリーターミナル。目の前にはどでかい「さんふらわあ」号。昔映画で見た「タイタニック」を思い出す。このどでかい船に乗って朝には別府観光港だ。

11/12 予定通り朝7:45着。そこからレンタカーを借り、登山口の牧ノ戸峠迄。高速に乗り、山道をくねくね登り10時前に牧ノ戸に着いた。予想通り駐車場はいっぱい。朝7時頃には満車になっている事も多いようなので心配していたが、その通りであった。これから長者原まで行くのもなんだしなあ・・・と思いきや、オートバイ専用の場所が空いており、悪いなと思いつつ、車半分その場所をお借りして駐車した。すぐに準備スタート。登り始めはずっとコンクリートの坂が続く。学生さん達の数グループが早くも疲れてヒューヒュー言ってる。みんな驚くほど軽装だ。1000m位登ると、視界が開け、特徴





ある由布岳が見えてきた。沓掛山付近からは右側に星生山、左奥に九重山が見えた。三俣山も確認できる。なだらかな尾根道、すすきに覆われた山だ。11:40久住分岐(1660m)。右奥に平治岳が見られる。今日は天気はバツグン！九州の山らしき景色があたり一面に広がる。奥に中岳、手前に天狗ヶ城山。頂上にたくさんの人が見える。西千里浜からは、ほぼ平坦な登山道。登山の途中にこんな

普通の長い道があるとは思わなかった。星生崎付近は岩場、そして無人の避難小屋と広場があった。任意の有料(100円)トイレがあった。(冬は使用禁止)

ひと息入れ、山頂へ。ここからはどこを歩いても合流して山頂に通じるような道だが、視界が悪い日だと、迷う人もいるらしい。12:15九重山頂上到着(1787m)。360度見渡す限りの展望だ。九重連山の山頂はどこも展望がいいとは聞くが、この九重山の南側の展望が実に素晴らしい。遠くに阿蘇山、祖母山系の山々が望める。しかしまあ人がいっぱい。子供たちもたくさんいて、子犬までいる。息も切れずあつという間であった。山頂は所狭しと人がいるので、少し離れた場所で昼食。人がいない場所を探しているって感じた。その後中岳の予定だったが、メンバーの1名が体調不良になり、下山することになった。16:30頃牧ノ戸へ無事下山。私もそのめんば一のザックを持って降りたが、途中遅れているのを待ったりして時間を費やし、船に乗り込む前に温泉の予定だったが、帰りの出航の時間も近づき、船の中のお風呂でガマンという事になった。19:00頃船に乗り込み、お風呂と反省会。車じゃない分、一杯飲めるし、ゆったりと寝れるのがいい。

11/13(日)7:45予定通り大阪南港ATCに到着し各自無事帰宅。朝に着いたので、まだ日曜日がまる1日あるから有り難い。

今回も天候に恵まれ、風もなく、ゆっくりとした山行が出来ました。代表的なルートだったからかも知れないが、ちょっと物足りない感があったけど、九重連山はいくつもあるので、又計画したいと思う。

■記録■清家 弘一